

例年の比べやや涼しい今年の梅雨。雨に洗われる紫陽花を愛でる余裕もちよっぴりと…

皆様&動物家族はお元気にお過ごしでしょうか？

フィラリア検査のシーズンも終わりました。今年もたくさんの方にフィラリア検査と合わせて生化学検査を受診していただきました。このように毎年我が子の健康状態をチェックして下さるのは本当に有意義であり、皆様の我が子の健康に対する関心の高さをあらわすことと喜んでおります。

平成24年7月10日



お知らせ



夏季休暇について

夏休みはありません…平常通りの診療時間となります。



健康トピックス



熱中症 これからの季節に命にかかわるような病気としてまず熱中症があげられます。人間と違って身体のごく一部にしか汗をかけないワンちゃんは体温の上昇を呼吸によって抑えるしかありません。ですから、気温があまり高くなくても、多湿であったり、激しく興奮したりするとアツという間に体温が上昇し危険な状態になります。人間の体感で判断して、今日は涼しいから車で待たせるのも大丈夫などと決して思わないで下さい。

車酔い クルマ酔いはなぜおきるのでしょうか？「目でみている景色の情報」と「体を感じている揺れの情報」が、脳でうまく統合できないことが原因で起こるそうです。車で出かける際は、体調が万全で、脳がリラックスしている状態であることが大切です。普段から車に慣れさせ、車は楽しい、と認識させましょう。また、昨年発売された制吐剤(吐き気止め)が乗り物酔いによる嘔吐にも効果があります。車苦手な子はまずご相談下さい。

■ ワンコのダイエット ■

日頃、拝見しているワンコ達のほぼ7割が生後1年半の頃より体重が増加し肥満傾向～肥満です。ダイエットの必要を感じている飼い主さんも多くいらっしゃると思います。次のようなお声をよく耳にします。

・食事量はかわらないのに…

歳を重ねるごとに日常の動きも少なくなり、身体が必要とするエネルギー量も減少します。

また代謝も衰えてきます。→ 太ります

・おやつはほんの少ししか与えていないのに…

ほんの少しが曲者です。大雑把な例えですが、体重5kgの子に1枚のビスケットをあげれば、50kgの人間が5枚食べたことになります → 太ります

・7歳になったからシニアフードにかえたのに…

成犬用のライトフードよりシニアフードの方がカロリーは高いです → 太ります

・ライトフードを与えているのにやせない…

一般食のライトフード(肥満の子用の食事)は減量効果はありません。

結論から申しますと “**体重は簡単には落とせません!**”

人間にとってもダイエットは難題。簡単に体重が落とせるなら、世の中に多くのダイエット情報や商品があふれているわけがありません。ただし、人間と違ってワンコ達は勝手に冷蔵庫を開けてビールを飲んだりしませんから、飼い主さんの頑張り次第ではダイエットの成功率は人間よりも高いといえるでしょう。

体重を落とすためには運動と適切な食事によって、消費エネルギーを増やし、摂取エネルギーを減らします。

と、どなたでもご存知のことですがこれがなかなか・・・

運動は心身の健康を保つために不可欠です。ですが運動によって体重を落とすのは容易なことではありません。これまでの経験からして効果があるのはやはり食事管理です。軽度の肥満であれば、間食を止め、現在の食事量を少なめにする程度で効果があがるかもしれませんが、それ以上の減量を考えるなら**減量用療法食をお勧めします**。一般食(肥満傾向用のものも含めて)では減らせるカロリーには限りがあります。給与量を減らしすぎればカロリーだけでなく必要とされる栄養素まで足りなくなってしまう。それにお腹もすきます。減量用療法食はカロリーを抑えても他の栄養素が不足しないように考慮されています。また脂肪の代謝や筋肉量の維持といった点からも減量をサポートしています。下記に一般食と減量用療法食の比較を記載しました。ただし単純にグラム数＝フードの容積(＝満腹感)ではありません。療法食は同じ重さでも繊維分を増やし量(カサ)を増す工夫をしています。

ヒルズ製品を例にとつての一般食・療法食の比較(他のメーカーのもの値はほぼ同じです)

標準給与量は体重4kgの子の場合です。

製 品	100gあたりのカロリー	標準給与量	1カップの重量
	単位 kcal	単位 g	単位 g
サイエンスダイエット 成犬用	375	85	85
サイエンスダイエット 成犬用 ライト	295	95	85
サイエンスダイエット シニア	369	75	85
サイエンスダイエット シニア ライト	310	90	80
ヒルズ 減量用療法食 r/d	296		69



理想的なダイエット計画はその子によって違います。

減量大作戦をお考えでしたら是非スタッフにご相談下さい。

■ フィラリア予防 今昔 ■

皆様の愛犬の年間スケジュールにはフィラリア予防が組み込まれていることと思います。今期、当院で実施した検査でもフィラリア症に感染している子はいませんでした。ですが、フィラリア予防が現在のように行われ、感染率が下がったのはそう昔のことではないのです。私の記憶をたどってフィラリア症予防の変遷を少々お話ししたいと思います。(年代については少々あやふやですがご勘弁下さい)

50年ほど前

フィラリア症という言葉すら一般の人間は知りませんでした。咳をしながら、ある日お腹が膨らんで亡くなっていく子がたくさんいました。この当時の平均寿命はせいぜい7～8歳といったところではなかったでしょうか。おそらく死亡率のかなりの割合をフィラリア症がしめていたことと思います。

30～40年ほど前

フィラリア症という言葉は耳にするようになりましたが、予防方はなく、発症した場合は唯一の外科的治療として虫体の取出しが行われました。麻酔下でフレキシブルアリゲーター鉗子(俗に吊り出し鉗子)という細長く先端が挟み込めるようになった鉗子を頸静脈から入れ、虫体を吊り出す手術です。私が代診の頃はベナキャバ・シンドローム(フィラリア急性症)と呼ばれる病状の子が多く担ぎ込まれこの手術が多く行われました。リスクの高い手術で亡くなる子も多くいました。フィラリア成虫は20～30cmの素麺のような虫体ですが、これが数十匹からみあって、病気の犬の体内から取り出される様に新米代診の私は震えあがったものです。また、慢性経過をたどる症

例にはメラルソミン等の砒素化合物でフィラリア成虫を殺しましたが、これも死んだ虫体が血管を閉塞させるなど高リスクの治療でした。

30年ほど前～

本院が開業した頃によくクエン酸ジエチルカルバマジンを主成分したフィラリア予防薬が登場しました。ただし、この薬はおよそ半年に渡り毎日投薬せねばならず、オーナーの負担も大きなものでまだまだ多くの方が予防を行うといった状況ではありませんでした。しかし予防ができるようになったという意味では新しい時代の幕開けと言ってよいでしょう。

20年ほど前～

マクロライド系抗生剤の一種で線虫類に著効を示す一群の誘導体が発見されことにより、月に1回の投薬でフィラリア予防が可能になりました。各製薬会社が相次いで製品を発売しました。これによりフィラリア予防の普及率は大きく上がり現在に至っています。

近年

数年前には1回の注射で6ヶ月間効果がある注射も登場しました。これは6ヶ月という期間が半端であること、副作用の報告例があったことから本院では採用しませんでした。他にも同じように考える方が多かったせいか大きな広がりを見せませんでした。間もなく12ヶ月有効の注射が発売されます。本院での使用は情報を集め慎重に検討するつもりでおります。もしかすると、来年は5月になったら注射1回でフィラリア予防はおしまい！ということになるかもしれません。

このように半世紀の時を経てフィラリア症で命を落とす子は劇的に減少しました。しかしフィラリアという虫がいなくなった訳ではありません。全国平均では予防をしなかった場合のフィラリア感染率は5割を超えと言われています。半世紀の成果を無駄にしないよう、気を緩めることなく予防を行っていくことが大切と考えております。

編集後記

最近、小さい頃から長きに渡りご来院下さった子が高齢となり亡くなることが続きました。もちろんご家族の悲しみに比べたら小さな痛みですが、私共もとても寂しい思いをいたします。皆様と最後にお会いするのは我が子を亡くされたときが多く、悲しいお顔でお別れしなければなりません。それだけに新しい子を迎えられ笑顔でご来院下さったときは、本当に嬉しく思います。また、私がこれまで多くの動物を愛し、見送ってきたことが、我が子を失った方がまた笑顔を取り戻せるまでの何かのお役に立てれば、旅立った私の子供たちもきっと喜んでくれると思っております。どうしようもなく辛いなあ、と思われたら是非、病院宛にメールを下さい。お話を聞くことしかできませんが必ずお返事させていただきます。

梅雨が明ければ夏・ナツ・なつ。どうぞお元気に楽しい夏をお過ごし下さい。



まるつか動物病院